



野々市町文化協会だより

第10号

発行人

野々市町文化協会
会長 谷下 通夫
事務所
野々市町中央公民館内
野々市町本町2丁目1-20
TEL (076)248-0521

資源保護のため再生紙を使用しています



野々市町文化協会会長
谷下 通夫

盛夏のみぎり、町民の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。
さて、先の第八回花と緑ののいち「椿まつり'97」は「時空を超え夢をはぐくむ椿の郷」をテーマに、文化会館・ふれあい会館・郷土資料館を会場に開催し、おかげさまで過去最高の一万一千五百人のご来場を賜り、成功裡に終了いたしました。ここにあらためて町民の皆様方に厚く御礼申し上げます。加えて、今年一月二十六日には、文化会館にて安田町長をはじめ多くのご来賓、関係者の方々のご臨席を賜り、文化協会創立十周年記念式典や感謝状の贈呈をはじめマスキングと増田金一先生のユーモアあふれる講演会、そしてレセプションの開催と多彩に繰り広げて参りました。また、十年のあゆみとして「文協十年誌」を発刊することも出来ました。これひとえに、協会の諸先輩方々をはじめ会員並びに町民各位の皆様のご理解、ご協力の賜物と、重ねて深く感謝を申し上げる次第であります。
十周年の節目を終え、新たな時代に向かって、町の文化振興の推進役として心新たに、加盟団体間の連携を密にし、より幅広く、より質の高い活動ができるよう、さらに努力を惜しまぬ所存であります。
今後とも、町民の皆様方、町当局並びにご関係の方々の深いご理解とご支援をお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

第8回花と緑ののいち 椿まつり'97



フォルテ会場



花と緑の市



フォルテふれあいホール



マスキング講演会



記念レセプション



感謝状贈呈



記念式典

文化協会創立 10周年記念事業

文化協会 加盟団体一覧	団体名	代表者	設立年	会員数	団体名	代表者	設立年	会員数
	1 野々市じょんから節保存会	村上 一夫	昭和35年	80名	9 将棋協会	鈴木久太郎	昭和58年	114名
	2 菊花協会	高橋外茂男	36年	68名	10 読書会連絡協議会	北村 倫子	61年	55名
	3 椿愛好会	佐久間由孝	49年	78名	11 社交ダンス愛好会	綱川 善作	61年	35名
	4 美術協会	二又 米造	52年	84名	12 民謡協会	黒保 竹吉	平成元年	108名
	5 音楽文化協会	宮岸 洋二	52年	150名	13 俳句協会	金丸 直治	3年	73名
	6 華道協会	中山 栄	53年	156名	14 茶道協会	吉田 郁子	5年	179名
	7 盆栽愛好会	向田初三郎	54年	37名	15 短歌協会	香城 清子	7年	32名
	8 囲碁協会	魚住 雅一	57年	150名	計			1399名

まつり盛り上げ、町民の指導にも力

じよんから節保存会

「じよんから」といえば野々市町がすぐ頭に浮かぶほど有名な同町の伝統芸能であり、毎年八月一日、二日に繰り広げられる「野々市じよんからまつり」に欠かせないのが、じよんから節保存会のメンバーであります。

会場中央のやぐらの上で、最後まで生演奏でおはやしを続け、踊りの輪を盛り上げています。まつりの前には各町内会や企業の講習会に出掛け、ボランティアで指導に当たっています。「じよんからまつりは見ているだけではつまらない。一人でも多くの人に踊りの輪に加わってもらい、自分たちが楽しむまつりにしたい」と会員一同期待を込めています。

又保存会で会員を募集しています。いつでも入会できます。小川(248-1223)まで。



日々の健康を社交ダンスで

社交ダンス愛好会

毎週火曜日、中央公民館に集い、マナーと技術の向上を図りながら、健康で平和な時を重ねております。

この喜びをダンス愛好者と分かちあえたらということで、チャリティーパーティー(収益金は町の福祉へ)を、ムーンライトJAZZオケストラと合同(八月二十四日)、カラオケサークルと合同(十一月、日は未定)を予定しております。



音楽したい人この指とまれ!

音楽文化協会

音楽というものは実にありがたいもので、性別、年齢を問わず「音をつくる」「音をたたく」一つの共通の目的さえあれば、その瞬間から仲間をつくることが出来ます。

私達「野々市町音楽文化協会」においても、小学生から、70歳を迎えられた方まで、それぞれの団体に練習に励み、同じ本番のステージで喜びを分かち合っています。「一度ステージでスポットライトを浴びると一生やめられなくなってしまう」というようなプロの音楽家の話があります。これは私達アマチュア音楽愛好家とて全く同じことが言えます。

音痴でも歌は歌えます。楽譜が読めなくても楽器の演奏はできます。今からでもおそくはありません。「音楽したい人、この指とまれ!」



設立二十周年を迎えて

美術協会

昭和五十二年に発足した美術協会も本年は、二十周年の節目を迎えました。この間、会員数も年々増加し、現在、八十余名の会員が地域文化の振興のために活躍しています。

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門の会員が所属会派を超えて結束し、町美術展・協会展等に積極的に参加しています。今秋の美術協会展は、二十周年記念

展として開催を計画しています。町当局をはじめ、町民の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



吟行の定着化を目指して

短歌協会

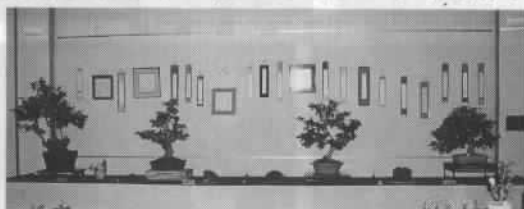
第三回総会を無事終えて、今は今年度の行事計画遂行について案を練っております。昨年度は町の「椿まつり」や、文化祭等に会員全員が参加するとともに、喫茶店のギャラリで作品展示などを行ない、積極的な活動を展開してきました。今年度も昨年の実績を踏まえ、短歌にとって必須とも言える吟行の定着化を目指し頑張っていきたいと思っております。

四季のうつろいを詠む

俳句協会

平成九年度の総会では、万緑滴る鶴来方面に吟行し句会を催しました。その土地の伝説や歴史にふれながら四季のうつろいを五七五に詠む遊びは、俳句ならではの醍醐味であります。

八月の「じよんからまつり俳句大会」も年々投句者が増え、一般はもとより中高生の俳句への興味を少しでも高めたいという願いをこめての催しであります。ふるって投句下さい。



短くて大輪の福助作り

菊花協会

先号に大菊作り仕立方の種類等について述べましたが、今回は福助作りを紹介したいと思います。

最近、多くの皆さんから、大菊作りの問い合わせがあり、私共としては、大変嬉しく思っています。今頃の時期は福助作りが最もよいでしょう。7月23日頃までに菊花協会に、ご連絡があれば苗の準備を致します。福助は100日間花を咲かせます。鉢も5号鉢で取り扱いも楽です。肥料や消毒は「福助作り日誌」を、贈呈いたします(中央

公民館にもあります)ので見て戴ければ、おわかりと思います。



読み仲間

読書会連絡協議会

「毎年次山出版される本の中から、どんな方法でテキストを選ぶのですか?」と尋ねられました。新聞、雑誌の紹介欄、県や町の図書館で十冊ずつ揃えて下さる学習文庫の目録、などと考えるうち「仲間が選ぶ」という答えに到達しました。

六月十九日の合同読書会のテキスト、大原富枝著「日陰の姉妹」も仲間の推薦で決まりました。本の情報も交し合える「読み仲間」を力強く思い、本との出会いがひとしお楽しみに思われるのです。



LOOK
通信

盆栽愛好会のこれから

盆栽愛好会

盆栽会が結成されてから今年で十八年、人生で言えばもう成人式を迎えようとしています。

盆栽熱も盛んで六月には第十八回春の盆栽展が教育委員会、文化協会後援で盛大に行なわれたところです。指導者のな会員も多数おられます。樹態の持ち込まれた逸品も多く、毎回の展示会では入場者を喜ばせてくれます。最近では椿盆栽の育成研究も盛んで椿盆栽を野々市発信の元となるよう努めております。

また、これからは展示会を開催するときに一般市民も参加できるように努めたいと思っております。



民謡は日本の心のふるさと

民謡協会

また、これからは展示会を開催するときに一般市民も参加できるように努めたいと思っております。



民謡協会は公民館を中心とした野々市中央・富奥・郷・押野・丸木の各教室があり、現在百余名の会員で「椿まつり・民謡まつり・芸能祭」等会員一同一生懸命頑張っています。

民謡は日本の心のふるさとであり、各地の歴史と風土の中から永い年月をかけて親しまれ唄いつがれてまいりました。

唄は、人々に憩いと素朴で豊かな安らぎを与えてくれます。

私達はこのすぐれた伝統文化を大切に、地域づくりをめざし活動の輪を広げていきたいと願っています。

設立20周年記念花展を開催

華道協会

昭和53年に設立された野々市町華道協会は、今日8流派16社中150余名の会員を有するまでに成長致しました。平成9年度は当協会設立20周年の節目の年であり、先頃町文化会館に於いて町長はじめ文化協会長他沢山の御来賓御列席のもと、20周年記念花展並びに当協会功労者表彰式が行なわれ、大勢の御高覧者を会場にお迎えする事ができました。出席者の集いは各方面への謝意と次回への新たな決意が語られました。



LOOK 加盟

暮一緒に楽しもうね

囲碁協会

毎週の定例会は、中央公民館で、土曜の晩と日曜の午後に、囲碁を楽しんでいます。

主な行事として、一月の新春囲碁大会は、ABCの三階級で、段級着目のハンディ戦、十月の予選会から始まる名人位・金杯位・銀杯位のタイトル戦は、八月に上位二名での三番勝負で決定します。(ハンディなし)

またこの七月から、三ヶ月ごとの最多勝、勝率賞をかけて、定例会参加者で行います。会費は年間千円です。お出でください。



五周年の節目を迎えて

茶道協会

茶道協会が発足して早くも五年目を迎えました。この間、お抹茶もお煎茶もそれぞれに流儀を持ちながら心を寄せ合い、町の協賛行事に、一晩にもてなしの心をこめて茶会を催してまいりました。



また、ある時は、心の豊かさを求めて講師を招き講演会を開くなど自己研鑽にもつとめてまいりました。

五周年の節目にあたり、努力して築かれた礎を大切に、初心を忘れず、新しいことにも眼を向けていきたいと念じています。どうぞお気軽にご入会されますようお願いしております。

年齢差・異職種を超えた交流が魅力

将棋協会

例会の順位戦は81期です。木・土曜日に中央公民館で級別のリーグ戦が二か月単位で行われ、上位5名が次期昇給します。A:15名、B:17名、C:20名、D:他新入会員。



9月7日に第10回県下野々市市将棋大会(四段位争奪)と協会15周年誌の発行予定です。

将棋の魅力は、さまざまな異職種の方々が、老幼を問わず顔を突き合わせて、盤上で火花を散らすことであり、その光景は壮観です。日ごろのストレス解消に、また棋力試しにどうぞ新会員大歓迎。

育てる楽しみ 作るたのしみ

椿愛好会



町花木「椿」の普及と会員相互の親睦を目的に各種の活動を展開してきた当会は、一昨年の設立20周年を節目に新しい内容の活動にとり組んできました。椿花を手軽につくれる手工芸品講習会や椿の魅力を記録しようとする写真の撮影技術講習会等を開催し、回を重ねるごとに多くの会員の参加を得て喜ばれています。これからは椿を育てる楽しみとともに、椿を作る楽しみも加えながら、更に幅広い活動へと取り組んでいきたいと思っております。



野々市町文化協会表彰

平成八年度文化協会表彰贈呈式が十一月三日(文化の日)文化会館にて挙行され、次の四氏一団体に表彰状と記念品が贈られ、それぞれの功勞、功績が讃えられました。



贈呈式
野々市町・野々市町教育委員会表彰
文化協会・体育協会表彰

文化協会表彰

【文化功勞賞】
上野 保清(粟田四丁目)

昭和五十四年町盆裁愛好会設立に尽力。以来、役員として多年にわたり会の運営・発展、後進の指導並びに盆裁の普及に貢献

故宮川 博俊(矢作一丁目)

町社会教育課長に就任以来、町文化協会の指導育成に献身的に尽力され、協会の伸展に寄与し、町文化の振興に貢献

【文化振興賞】
増 峯澄(押野一丁目)

昭和五十三年町華道協会設立以来、役員として多年にわたり会の運営・発展、後進の指導に尽力され、町の文化振興に貢献

高村 勇雄(太平寺四丁目)

町老人福祉センター構想開設以来、町囲碁協会役員として町民への普及指導に尽力され町の文化振興に貢献

文化活動の功勞・功績をたたえる

【文化奨励賞】
金沢サクソフォンアンサンブル
全日本アンサンブルコンテスト北陸大会にて金賞を受賞、県内外の愛好者との連携を図り、サクソフォンの技術の向上と振興発展に寄与

また、協会表彰に先立ち、町教育委員会の表彰が行われ、次の二氏が受賞されました。(文化協会上申分)

教育功勞表彰

瀬尾 亮彌(本町三丁目)

椿愛好会会長として会の育成と町花木「椿」の普及に尽力され、また「のいち椿まつり」の礎と発展に寄与し、加えて剣道教室などをおして児童の健全育成に貢献
西村みのを(中林一丁目)
短歌の普及に献身され、平成七年の町短歌協会設立までの礎を築き、町文化振興に貢献

文化協会創立10周年記念感謝状受賞者

10年間野々市町文化協会役員等として功勞があつた方に贈呈



野々市町文化協会創立10周年記念式典

- 東谷 弘
- 館 惣吉
- 二又 米造
- 始谷久太郎
- 瀬尾 亮彌
- 高橋外茂男
- 向田初三郎
- 魚住 雅一
- 源野 辰一
- 山口 正昭
- 丸山 順孝
- 北村 倫子
- 亀井 政子
- 北 清志
- 山口 良
- 宮岸 洋二

わが協会にこの人あり

加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方をご紹介します。



野々市町音楽文化協会
山本 晃彦さん

町音楽文化協会副理事長、町文化協会常任理事として、活発な活動を展開している人物、それが山本晃彦さんです。

「音楽は人に聴いてもらってなんぼや、活動のマンネリ化はむしろアマチュアにとっては最大の敵。」と言った彼の口ぐせです。文化協会の会合の場で諸先輩方を前に、たびたびの辛口発言をしご迷惑をおかけしているとのこと。しかし、このことは必ずや文化協会のマンネリ化防止にもつながると思っております。

また、彼は当協会傘下団体のムーンライトJAZZオーケストラのメンバーでもあります。当町主催の「ビッグアップル・イン・野々市」では同バンド、音文協、町当局が三者一体となって盛り上げ、今では日本全国に知られるようになりました。

山本さんは昨年「子供達にもっと軽音楽をからだで感じてもらいたい。」と近隣の小中学校で「JAZZ教室」なるミニコンサート活動をくりひろげています。今後共彼には更なる行動を展開してもらいたい、と私達会員一同願っております。(谷下智明 記)



野々市町華道協会
若島 翠節さん

藤平田2丁目にお住まいの若島翠節先生をご紹介します。先生は石川県いけ花協会理事、石川県いけ花文化協会評議員、また町文化協会監事として活躍。そしてわが野々市町華道協会の理事として九流派会員数150名あまりのまとめ役である事務局長として協会の発展の為、御活躍していらっしゃる貴重な先生です。

今年5月に開催した町華道協会20周年記念「花展」においてもその手腕を十分に発揮されました。協会の運営、発展、後進の指導をされている先生の何時までも御元気で若々しく更なる御尽力を願ひまして紹介をさせていただきます。(小原流 亀井佳秀 記)

平成9年度野々市町文化協会役員				平成9年度主な事業計画				
職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体	月日	事業名	場所
顧問	安田 彦三		常任理事	山口 正昭	民謡協会	7月10日	野々市町美術展後援	フォルテ
	内村 栄一			金丸 直治	俳句協会	~20日		
	田村 昌俊			安田 光男	茶道協会			
参与	飯森 又郎		理事	香城 清子	短歌協会	7月15日	文化協会だより発行	町内全戸配布
	松本 佐二			栗 よし子	じょんから節保存会			
	米林 勝二			山田 清正	菊花協会			
会長	館 惣吉			中島 康雄	椿愛好会	7月17日	視察研修会	富山県井口村外
副会長	谷下 通夫			野々市 利男	美術協会			
	無量井 三郎	美術協会		丸山 順孝	音楽文化協会	8月1・2日	野々市じょんからまつり協賛	フォルテ周辺
	二又 米造	将棋協会		北村 俊雄	盆栽愛好会			
	始谷久太郎			魚住 雅一	囲碁協会	11月3日	文化協会表彰式	フォルテ
理事長	宮岸 洋二			窪田 弘	将棋協会			
常任理事	村上 一夫	じょんから節保存会		竹村外志栄	社交ダンス愛好会	10月26日	のいちマナビィフェスティバル協賛	中央公民館 フォルテ 郷土資料館
	高橋外茂男	菊花協会		黒保 竹吉	民謡協会	~11月3日		
	佐久間由孝	椿愛好会		奥村誠一路	俳句協会			
	山本 晃彦	音楽文化協会		酒井喜和江	茶道協会	1月7日	新春書きぞめ大会後援	中央公民館
	中山 栄	華道協会		中西名菜子	短歌協会			
	向田初三郎	盆栽愛好会		若島 翠節	華道協会	1月中旬	新年懇親パーティー	フォルテ
	源野 辰一	囲碁協会	監事	亀井 政子	読書会連絡協議会			
	北村 倫子	読書会連絡協議会	幹事	北 清志		3月21・22日	花と緑ののいち椿まつり98	フォルテ ふれあい会館 郷土資料館
	絹川 善作	社交ダンス愛好会		山口 良				
				大久保邦彦				